

地域における公衆栄養活動・母子栄養に関する研究

柴田学園大学 学科健康栄養学科 小沼 奈緒美

TEL 0172-32-2289

FAX 0172-33-2486

e-mail n-konuma@shibata.ac.jp

キーワード

公衆栄養活動、母子栄養、在宅栄養、行政栄養士

乳幼児期の栄養状況・生活習慣は、児の将来の健康に影響することから、「母親の朝食欠食と児の食習慣」、「保護者の調理体験と児の食行動」等、子どもの食習慣や食育をテーマに研究を行ってきました。

今後も、子どもと家族、さらに家族を取り巻く、地域全ての人々の生活の質の向上を目指し、青森県民の食習慣・食行動・食環境を調査し、具体的な改善策を提案していきます。

【これまでの研究テーマ】

- ◇家庭における5歳児とその保護者の調理体験が児の食行動に及ぼす影響
- ◇地域における壮年期男性の飲酒量と健診結果および生活習慣の関連
- ◇母親の朝食欠食と3歳児の食習慣との関連
- ◇乳児期におけるSNSを活用した食育に関する情報発信の検討
- ◇家庭における5歳児とその保護者の調理体験が児の食行動に及ぼす影響
- ◇青森県における乳幼児を対象とした栄養相談に関する研究事業